



キャリアパスフォーラム 第4弾

— 海外の日本語教育現場（ヨーロッパ編） —

このキャリアパスフォーラムは、将来日本語教育にかかわりたい方や、現在日本語教育に関わっていても違う分野にチャレンジしたい方に向けて、日本語教育業界の多様な現場をよく知ってもらうためのイベントです。

キャリアパスフォーラム第4弾は海外の日本語教育現場（ヨーロッパ編）です。将来、海外で日本語を教えるみたい、海外でのキャリアを積んでみたいと思われている方も多いのではないのでしょうか。

キャリアパスフォーラムへの参加を通して、海外の現場を知り、将来のキャリアを考えてみませんか。

日時：2024年2月18日（日） 16:00～18:00 [日本時間]

参加費：500円（会員・非会員問わず）

※中高生・大学学部生は参加費無料

定員：100名（要事前申込・定員になり次第締切）

対象：キャリアとして海外の日本語教育を知りたい方

将来、海外の日本語教育に関連する機関で働くことに興味を持っている方

キャリアパスとして、次のステップに進みたいと考えている方

申込方法：日本語教育学会 HP（<https://www.nkg.or.jp/>）の「マイページ」から事前申し込み。

非会員の方もマイページ登録をしての申し込みとなります。

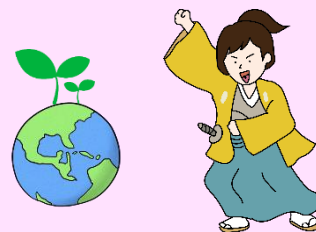
※中高生・大学学部生はマイページ登録不要です。こちらに必要事項を記入し、在学中であることがわかる書類（学生証の写真等）をご提出ください。

申込締切：2024年2月9日（金）正午 [日本時間]

実施方法：Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で実施します。

Zoom を利用するための事前準備や接続方法等については、後日、申し込み者に対してご案内いたします。

主催：公益社団法人日本語教育学会（担当：チャレンジ支援委員会）



日本語教育学会
HPはこちらから

16:00～16:10 挨拶・趣旨説明・海外の日本語教育事情

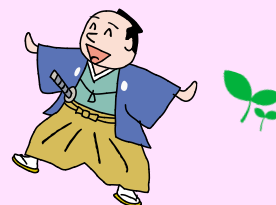
16:10～16:55 登壇者による海外での日本語教育についての説明

※登壇者は裏面参照

16:55～17:05 共通する質問への回答

17:05～17:50 車座タイム（ブレイクアウトルーム移動自由）

17:50～18:00 まとめ



問合先：公益社団法人日本語教育学会（チャレンジ支援委員会）

TEL:03-3262-4291（平日 9～18 時のみ）

E-mail:challenge@nkg.or.jp



公益社団法人

日本語教育学会

登壇者紹介

内川かずみ（ハンガリー エトヴェシュ・ロラード大学 常勤講師） <https://www.elte.hu/>

大学卒業後すぐにハンガリーに渡り、蚤の市のバイヤー、日本食材店の売り子、会社員など、紆余曲折を経て、2006年からブダペストにある国立総合大学の日本学科で日本語教師をしています。この仕事はたまたまとても性に合っているようで、ほぼ毎晩「明日が楽しみだ!」と思いつつ眠りについており、幸せです。仕事が好きすぎて、博士号も取りました。日本語教師の誰もがこんな感じというわけではないのかもしれませんが、私自身の感じている楽しさが少しでも伝われば嬉しいです。



吉岡慶子（オランダ ライデン大学 上級講師） <https://www.universiteitleiden.nl>

地域研究学院日本研究専攻 日本語プログラムディレクター

大学では英語学、大学院では応用言語学を専攻し、日本で数年、高校の英語教師をしていました。その後、国立国語研究所日本語教育専門研修生、ハワイ大学の講師を経て、現在はライデン大学で日本語と言語学を教えています。ライデン大学は欧州で初めて日本学科が設置された（1855年）大学です。長い間、講読中心の授業が行われていましたが、最近は学生のニーズの変化やネット技術の進歩に伴い、授業の内容や形態も変わってきています。日本語の講師は8名、学生は大学院生を含めて約300名の大所帯です。



熊谷容子（スウェーデン ヨーテボリ日本人補習校 主任 <https://web.jsbg.se/>
ダーラナ大学言語文学教育学部日本語科 講師 <https://www.du.se/en>



大学での授業のかたわら、スウェーデンのヨーテボリという町にある小規模の補習校で、週に一度小学生にも日本語を教えています。子どもを対象に教えるのは、成人への日本語教育とは異なることも多く、時には大変だなと思うこともありますが、一方で、子ども達の笑顔から元気をもらうことも多いです。大学を卒業後、どのようにして今の仕事にたどり着いたのか、そして、海外で継承語として日本語を学ぶ子ども達に何を教える仕事の面白さについてもお伝えできたらと思っています。

根元佐和子（フランス パリ南日本語補習校 教師/教師代表） <https://www.afjps.fr/home>

日本→フランス→ドイツ→中国→ドイツ→フランスと移動し、現在はフランスで生活をしています。日本では中高の国語と書道教師で、日本語学校で成人に日本語を教えていました。その後、移動先の国々の大学で日本語を教えていました。継承語教育との出会いは2回目のドイツ在住の時、フランスに戻り日本語との二足の草鞋は履けないと思い、継承語教育に専念することを決め、現在フランスで日本にルーツを持つ子どもたちへの言葉の教育をしています。



東健太郎（ドイツ 国際交流基金ケルン日本文化会館 日本語上級専門家）

<https://co.jpj.go.jp/>



「君は野武士みたいな男やから、どこ行っても大丈夫やろ」と恩師より太鼓判を押されて20数年が経ちました。その間、マレーシア→日本→カタール→オランダ→日本を経て、現在はドイツのケルンにて日本語教育に携わっています。業務は、ドイツと周辺国の先生方を対象とした研修会の開催やネットワーク構築支援、日本語教育に関する調査や情報収集…などなどです。私も、SNSもスマホもなかった学生時代、日本語教師って、どんな仕事なん？と不安でいっぱいでした。少しでも、みなさんのお役に立てればと思います。当日お会いできるのを楽しみにしています！

大船ちさと（イギリス 国際交流基金ロンドン日本文化センター 日本語上級専門家）

<https://www.jpj.org.uk/>



これまで日本、中国、ベトナム、フィリピンで日本語教育に携わり、2021年9月に英国に赴任しました。日本国内では日本語学校や大学、財団法人での教材開発、海外では大学、中等教育機関、出版社、教育省付属の研究機関、国際交流基金のセンターとさまざまな立場で日本語教育に関わってきました。ロンドンでは日本語教師向けのワークショップの企画・実施のほか、学習者向けのイベントの実施、日本語教育のプロモーション活動、日本語教育の環境整備などに取り組んでいます。